

令和5年度 スポーツ推進事業評価

資料 - 2

【第五次総合計画上の区分】
第3章 未来を創る子どもの育成
Ⅴ 人生100年時代の学び
1 生涯学習の展開

網掛け事業は前回12月会議で報告済事業

〔評価等の凡例〕 【実績】 Aー成果があった Bー少し成果があった Cーあまり成果がなかった Dーまったく成果がなかった
【中間】 ○ー事業継続中 △ー事業実施予定 ーー事業中止

区分	No.	事業名等	内 容	活動指標				成果指標				評価	課題要因(成果・効率性・妥当性)	説明 (今後の方向性)	特記事項	
				指標名	計画	実績	達成率(%)	指標名	計画	実績	達成率(%)					
1.生涯学習の推進	1	町スポーツ・レクリエーション祭(スポネットせいらう)	(対象)	全町民	開催回数(回)	1	1	100	入場者数(人)	500	600	120	A	子どもたちから高齢者まで、年齢を問わず誰もが気軽にできる軽スポーツを4年ぶりに楽しみました。当日は小雨も降り、少し肌寒く感じましたが多くの方に参加していただきました。	実施種目の選定及び協力団体との関わりについてスポーツ推進委員の皆さんと協議しながら進める。	主管:スポーツ推進委員 「おにぎりや豚汁の無料配布」を「キッチンカー」に変更した。 スポーツ振興業務委託事業(スポネットせいらう)
			(目的・内容)	全町民を対象とした一大スポーツイベント。このイベントを通して住民にスポーツの楽しさを実感してもらうとともに、住民の健康の増進と交流の促進を図る。												
			(予算科目)	保健体育総務費												
			(主な経費)	報償費(謝礼20千円)、需用費(消耗品費200千円、食糧費70千円、印刷製本費10千円)、役務費、使用料及び賃借料												
	2	町内オリエンタリング	(対象)	小学5～6年生	開催回数(回)	1	1	100	入場者数(人)	50	13	26	B	コロナ禍前は人気の事業であったが4年ぶりの開催だったため事業の認知度が低かった。	事業内容の魅力についてPRを工夫することや事業内容の見直しをする。	主管:スポーツ推進委員 スポーツ振興業務委託事業(スポネットせいらう)
			(目的・内容)	オリエンタリングを通じてスポーツ体験や町内に立地の歴史文化財等を知ること、健康増進、助け合い、愛郷心を育む。												
			(予算科目)	保健体育総務費												
			(主な経費)	—												
	3	障がい者スポーツ(スポネットせいらう)	(対象)	障がい者、健常者	開催回数(回)	11	14	127	参加者数(人)	700	350	50	A			①障がい者バレーボール大会 ②バラスポーツ大会(ポッチャ交流・体験会) ③バラスポーツ教室 スポーツ振興業務委託事業(スポネットせいらう)
			(目的・内容)	障がい者、健常者関係なくできるスポーツを実施し、スポーツの楽しさを実感してもらうとともに、住民の健康の増進と交流の促進を図る。 ※障がい者スポーツ大会誘致及び障がい者スポーツの調査研究												
			(予算科目)	保健体育総務費												
			(主な経費)	スポネットせいらう委託料に含む(消耗品費、審判・講師謝礼)												
4	スポーツ少年団	(対象)	各小学校・中学校の児童・生徒	活動団体数	10	10	100	団員数(人)	259	267	103	A	スポーツに親しむ子どもの受け皿として重要である。	引き続き実施。	例年の団体の活動のほかに入団式や交流会を実施。	
		(目的・内容)	スポーツを通して子どもたちの心身の健康と交流を図る。													
		(予算科目)	社会教育総務費													
		(主な経費)	芸術スポーツ文化奨励金の一部(円)													

第3章 未来を創る子どもの育成
Ⅴ 人生100年時代の学び
1 生涯学習の展開

区分	No.	事業名等	内 容		活動指標				成果指標				評価	課題要因(成果・効率性・妥当性)	説明 (今後の方向性)	特記事項
					指標名	計画	実績	達成率(%)	指標名	計画	実績	達成率(%)				
1 生涯学習の推進	5	ジュニア競技スポーツクラブ育成事業(フェンシング)	(対象)	ジュニアフェンシング競技者	事業開催数(回)	90	93	103	参加者数(人)	10	7	70	A	県の強化指定を受け、競技の普及と強化を行っている。成果として、好成績を収める選手がいる。	引き続き実施していくが、普及活動を進める。	
			(目的・内容)	フェンシング競技の普及・強化と、子どもたちの健全育成に資する。												
			(予算科目)	保健体育総務費												
			(主な経費)	負担金補助及び交付金(336千円) ※県補助金206千円												
	6	スポーツエキスパート活用事業(中学校運動部活動指導者派遣事業)	(対象)	中学校運動部活動指導者	種目団体数	1	1	100	のべ参加者数(人)	3,000	2,600	87	A	部活動の在り方が見直されているなか、学校(教諭)の負担軽減及び指導内容の充実など期待が大きい。	引き続き実施。	
			(目的・内容)	スポーツ指導者の活動機会の確保と中学校運動部活動の競技力の向上を図る。												
			(予算科目)	保健体育総務費												
			(主な経費)	報償費(344千円)												
	7	聖籠町親善剣道大会(広域事業)	(対象)	町内の少年少女剣士	開催回数(回)	1	1	100	参加者数(人)	800	382	48	A			12月3日開催 スポーツ振興業務委託事業(スポネットせいらう)
			(目的・内容)	町の少年少女剣士の健全な心身の育成と技術力の向上、併せて県内の少年少女剣士との交流を図る。												
			(予算科目)	保健体育総務費												
			(主な経費)	需用費(消耗品費39千円)												
	8	スポーツ振興業務委託事業(スポネットせいらう)	(対象)	町民	開催回数(回)	336	300	89	参加者数(人)	4,800	4,732	99	A		当町の子どもから大人までスポーツ事業の中心となるものである。今後もスポーツ振興のため継続したい。	
			(目的・内容)	住民のニーズを的確にとらえ、スポーツを身近に感じられるよう、有効なスポーツ機会を提供し、人的交流・健康増進を図る。												
			(予算科目)	保健体育総務費												
			(主な経費)	委託料(15,080,000円) 太極拳、おやすみヨガ、ヨガ教室(昼の部)、走るの好きっ子(陸上)、ジュニアバドミントン、体操、バラスポーツ教室 聖籠町学童野球大会、はまなす杯中学生ソフトテニス大会、中学校選抜バスケット大会、バラスポーツ大会												

第3章 未来を創る子どもの育成

V 人生100年時代の学び

1 生涯学習の展開

区分	No.	事業名等	内 容	活動指標				成果指標				評価	課題要因(成果・効率性・妥当性)	説明 (今後の方向性)	特記事項	
				指標名	計画	実績	達成率(%)	指標名	計画	実績	達成率(%)					
1 生涯学習の推進	9	スポーツ振興業務委託事業(アルビレックス新潟)	(対象)	園児・小学生・中学生 等	開催回数(回)	28	28	100	参加者数(人)	1,500	1,784	119	A		プロ選手からの指導や町民招待観戦等、町内のスポーツ意識の向上の一助となっているので、今後も継続したい。	・楽しいスポーツ教室 6回 ・サッカーチーム指導 6回 ・早く走るコツ講座 9回 ・放課後教室 6回 ・町民招待観戦 6試合 ・町スポーツレクリエーション祭
			(目的・内容)	プロスポーツとの連携により、プロ選手からの直接指導やスポーツ教室等を経験することで、住民のスポーツ意識の高揚を図る。												
			(予算科目)	保健体育総務費												
			(主な経費)	委託料(5,000千円) 楽しいスポーツ教室 / サッカーチーム指導 / 速く走るコツ講座 / 放課後教室 / 町民招待観戦 / 町スポーツレクリエーション祭												
	10	聖籠町芸術・スポーツ文化振興奨励金等交付事業	(対象)	芸術・スポーツ分野において活躍する個人・団体	申請件数 交付額	78 1,180,000	57 770,000	73 65	申請件数 交付額	78 1,180,000	57 770,000	73 65	B	コロナによる規制も解除となり、前年度よりも交付の実績が増加している。	令和3年度末に交付内容の見直しを実施した。 スポーツ少年団、文化団体への奨励金は補助金へ移行	令和4年度 46人 令和3年度 34人 令和2年度 14人 令和元年度 80人 平成30年度 113人 平成29年度 89人 コロナ禍の影響により対象大会が減少したが、徐々に増加している。
			(目的・内容)	優れた技能を有し、又は挑戦・活躍する町民等を対象に奨励金等を予算の範囲内で交付することにより、もって更なる技能向上・活躍を支援し、日本及び世界で活躍する町民等の育成を図り、町の社会教育に係る芸術・スポーツ文化の発展に寄与する。												
			(予算科目)	社会教育総務費												
			(主な経費)	報償費(1,680千円) 国際大会 80千円 全国大会 10千円(個人) / 100千円(団体)												
	11	スポーツ推進委員	(対象)	スポーツ推進委員(17名)	活動回数(回)	10	11	110	参加者数(人)	—	89	—	A			スポーツ振興業務委託事業(スポネットせいらう)に一部委託
			(目的・内容)	町のスポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行う。												
			(予算科目)	保健体育総務費												
			(主な経費)	スポネットせいらう委託料に含む(報酬、旅費、需用費)												
12	体育施設開放事業	(対象)	町スポーツ登録団体等	開催日数(日)	308	308	100	施設利用人数	60,000	87,878	146	A	町民等の健康増進の提供のため町内11施設を開放している。年2回の調整会議を行い、利用促進を図っている。	引き続き実施。		
		(目的・内容)	身近に、気軽にスポーツを楽しむ場を提供するため、学校を含めた体育施設の開放を行い、広域利用の促進を含めた施設の利用促進を図る。													
		(予算科目)	保健体育総務費													
		(主な経費)	—													

第3章 未来を創る子どもの育成
 V 人生100年時代の学び
 1 生涯学習の展開

区分	No.	事業名等	内 容		活動指標				成果指標				評価	課題要因(成果・効率性・妥当性)	説明 (今後の方向性)	特記事項
					指標名	計画	実績	達成率(%)	指標名	計画	実績	達成率(%)				
1 生涯学習の推進	13	スポアイランド 無料開放エリア設置 (体育施設開放事業)	(対象)	家族等	開催回数(回)	-	-	-	参加者数(人)	-	-	-	A	特に費用はかかっていない。開放日を休館日以外に拡大。開放日には親子で遊ぶ姿が見えた。	好評のため現在エリアの1/4を開放しているが、今後このエリアを拡大するか検討の余地あり。ただし、昨今の猛暑により芝の育成に陰りが見受けられるほか、熱中症対策から開放日を休館日以外開放から休館日及び毎週〇曜日以外開放と日数を減らす必要も考えられる。	スポアイランドを昨年度までは、日にちを決め無料開放していたところを今年度からいつでも遊べるように通年、一部エリア(1/4)を開放
			(目的・内容)	普段サッカーの使用目的以外では立ち入り禁止にし、サッカー場として整備しているスポアイランド聖籠をサッカーをしなくても入場することができ芝生の上で遊ぶなど交流を図る												
			(予算科目)	社会体育施設費												
			(主な経費)	特になし												